横浜FCサマーキャンプin にかほ 2007

～子どもたちや市民に夢と感動を～

サッカーJリーグ1部に所属している横浜FCが7月24日から8月1日までにかほ市でサマーキャンプを行いました。

国内サッカートップレベルのプレーが間近で見られるとあって、練習会場の仁賀保運動公園多目的広場には、連日、市内外からたくさんの観客が訪れ、選手たちに声援を送っていました。

歓迎セレモニーでの横浜FC

7月24日、9時に秋田空港に降り立った横浜FC一行は、バスでホテルエクセルキクスイへ移動。快晴のもと市民や関係者ら400人ほどが出迎え、歓迎セレモニーが行われました。

はじめに横山市長が「心から歓迎します。このキャンプが大きな効果を発揮することを祈念しています」と述べ、続いて横浜FC奥寺康彦会長が「とてもよい環境で安心しました。後期に向けて弾みとなるようなキャンプにしたいと思います」と述べられました。

歓迎セレモニーを終えた選手たちは、午後3時30分から早速仁賀保運動公園多目的広場で練習を行いました。スタンドには500人を超える観客が訪れ、プロ選手のハードな練習に感嘆の声が聞こえました。

練習終了後には、高木監督と三浦知良選手のインタビューが行われ、高木監督は、「ヨーロッパに似た気候でとてもトレーニングがしやすい環境です。選手たちにはプロ選手の力をピッチで見せて欲しいし、子どもたちの記憶に残るようなプレーを見せたいと思います」。三浦選手は、「空気がきれいですね。空が抜けた感じで…。10日間みっちり集中してできるんじゃないですかね。個人的にはとにかく試合をたくさんやりたいですね。1日2試合組んでる時もあるみたいだから、充分できるんじゃないかと楽しみにしています」とインタビューに答えていました。

7月25日は、午前・午後とトレーニングが行われました。スタンドには、延べ1、000人ほどの観客が詰め掛け、実践さながらのミニゲームや迫力あるシュート練習に見入っていました。

7月26日、午後4時からは富士大学と、午後6時からはTDKSCとの親善マッチが行われました。地元チームのTDKSC戦では、5、100人もの観客でスタンドやゴール裏などが埋め尽くされ、初めてのプロチームとの対戦にスタジアム全体が観客の熱気や興奮に包まれ、そのボルテージは、最高潮に達しました。

対TDKSC戦は、三浦知良選手が前半PKを決めるなど4対0で横浜FCが勝利しましたが、TDKSCもカウンター攻撃で横浜ゴールを何度か脅かすなど善戦しました。

国内トップレベルのスピード感あふれるプレーを目の前で観戦できた子どもたちには、忘れられない思い出となったことでしょう。

前半26分、先取点となった三浦知良選手のPK

横浜FC＆TDKSC試合前の記念写真

試合後、高木監督、三浦知良選手、山口素弘選手のインタビューが行われました。（抜粋）

【高木監督】『TDKは、非常にカウンターが怖いチーム。前線や最終ラインにスピードのある選手がいるし、特徴的な選手がいます。個性という部分でも非常に面白いチームだと思います。これから国体などで地域の興味を注いでいただけるチームに成長していくのかなと思います』

インタビューに答える
高木監督

【三浦知良選手】『気候の面やグラウンドピッチのコンディション、宿泊施設も含めてにかほの環境は素晴らしくいいです。僕個人としては、この環境の中でキャンプをやっていることを満足しています。今日もこれだけの人が来てくれて、みんながサッカーに興味を持ってくれて、これからTDKがJFLで活躍してもっともっと盛り上がっていって欲しいし、僕ら横浜FCとしてはJ1で最下位なので少しでも上にいけるように、あと1週間キャンプがありますから、集中してより充実した7日間にしたいと思います』

インタビューに答える
三浦知良選手

【山口素弘選手】『日中は結構暑いですけど湿気がないのがいいですね。体力的にきびしいことをやっていますから…。

ただ、これだけのお客さんが来ていますのでいい試合をしようということを試合前に話しました。キャンプでは、第一に体力的なものをこなすことや後半戦に向けての戦い方をチェックするつもりです。TDKといういいチームがありますので、地域密着で盛り上がってもらえれば素晴らしいことだと思います』

インタビューに答える
山口素弘選手

また、試合中に7月30日予定していたセリエAのカターニャ戦が中止となったことにより、TDKSCとの練習マッチを行うことになったことやキャンプを1日繰り上げて8月1日に新潟市に移動することなどの日程変更がアナウンスされました。

7月27日は、午前がトレーニングで、午後はオフとなりました。

7月28日は、あいにくの空模様にもかかわらず、スタンドには多くの観客が訪れ、目当ての選手に声援を送っていました。

この日、TDK秋田総合スポーツセンターでは、奥寺康彦横浜FC会長を迎え、地元や県外のスポーツ少年団7チームが参加して交流試合が行われました。

7月29日は、日曜日ということもあって、午前・午後のトレーニングには延べ2、500人を超える観客が訪れました。午後のトレーニング終了後、ピッチでは、横浜FCの高木監督やコーチ、選手らの指導によるサッカー教室が開催されました。地元スポーツ少年団など5チームから申し込みのあった210人ほどが参加し、各グループに分かれて、ドリブル、リフティングの基本練習やミニゲームなどを通して指導を受けました。

横浜FC選手にサッカーを習う地元スポーツ少年団

スポーツ交流会で開会のあいさつを行う奥寺会長